

# バスケットボール協会への提言と J クイックハンドボールを考える

2015. 6. 4

小学生委員会 山本

## 1 タスクフォース会議の提案

2015年6月2日、日本バスケットボール協会に対し『タスクフォース会議』（バスケ協会改革のための外部委員会）が、強力に最終提言を出しました。その主な内容は、以下の通りです。

### 「JBA 強化に関する最終のご提案」

- ① 15歳以下でのゾーンディフェンス禁止（ミニバス、中学校で禁止！）
- ② 出番の少ない高校1年生のため、1年生大会・試合を増加する。
- ③ 年齢に応じたトレーニングプログラムの開発をする。
- ④ 若く才能あるコーチを、発掘・育成する。海外派遣する。
- ⑤ 審判教育を国際基準に順応させる（判定基準を国際基準にする）
- ⑥ 各ブロックの各カテゴリー発掘には、中立なスカウトを任命する。
- ⑦ 各チームや学校は、代表チームへの選手派遣を最優先にする。
- ⑧ 外国人選手枠について
- ⑨ 男子代表の活動期間の増加

## 2 J クイックハンドボールの趣旨

上記日本バスケットボール協会の件は、オリンピック出場を目標に強化を目的とした提言です。しかし、我々日本ハンドボール協会の『J クイックハンドボール』は、**技術委員会を中心に原案を作成 2年間の試行期間で現場の意見聴取と意義の浸透**

という過程を踏んできました

これを機会に『J クイックハンドボール』の趣旨を再確認したいと思います。

### J クイックハンドボールの理念

- ◎ ハンドボールの夢の実現！ ⇒ 人づくり 楽しいハンドボール人生 健全育成
- ◎ ハンドボールの真の楽しさのため！ 発達過程に応じたボールゲームに
- ◎ 発達段階に適切・適確な指導！ 「少年期にグッドハビットを！！」
- ◎ 個の育成 運動能力 体力 技術 精神面 道德面

具体的には

- ア. 基礎基本の重視（1対1の強化、パスワーク、連携プレーの向上）
- イ. 判断力・応用力の育成
- ウ. 多面的能力の育成（視野の広さ、奥行き感覚の育成）

結果として

- ハンドボール界の強化になる
- 世界基準のプレーとなる
- ◎ 活発で楽しいハンドボールが広まる

そして、この理念を踏まえ、子どもにとってのハンドボール、日本のハンドボール界にとっての J クイックハンドボールを実践していきたいと思えます。

ご理解、ご協力をよろしく願います。